

科学研究費補助金研究成果報告書

平成24年6月6日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21520076

研究課題名（和文）現代中東における近代以前イスラーム思想の権威的テキストの受容と影響
 研究課題名（英文）Acceptance and impact of the pre-modern Islamic authoritative texts in the contemporary Mideast

研究代表者

竹下 政孝（TAKESHITA MASATAKA）

東京大学・大学院人文社会系研究科・教授

研究者番号：30163398

研究成果の概要（和文）：中東三地域（アラブ・イラン・トルコ地域）全般について、竹下がイスラーム神秘思想（イブン・アラビーおよびその系統）のテキスト、オスマン帝国領域について、柳橋が法学分野のシャイバーニーのテキストおよびスンナ派四法学派の権威的テキスト、イラン・シーア派地域について、鎌田が神秘思想に関するモッラー・サドラーのテキスト、吉田が伝承学のマジュリスィーのテキスト、エジプト、アラブ地域について、青柳がガザーリーの神学テキスト、これらの主要なテキストに関し現代における受容と影響を考察する論文、著作を成果としてまとめた。

研究成果の概要（英文）：We have published more than 30 papers and a few books as results of these three years' of research program according to each researchers' specialities and interests as follows: TAKESHITA dealt with the texts of Ibn Arabi and his school, YANAGIHASHI those of the four main Sunnite law school including that of Shaybani of the Hanafi, KAMADA did with the Shi'ite philosophic texts of Mulla Sadra, YOSHIDA of Majlisi, and AOYAGI dealt with the theological texts of Gazali.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	2,100,000	630,000	2,730,000
2010年度	900,000	270,000	1,170,000
2011年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	3,600,000	1,080,000	4,680,000

研究分野：思想史

科研費の分科・細目：哲学・思想史

キーワード：イスラーム神秘主義、イブン・アラビー、モッラー・サドラー、シャイバーニー、カラダーウィー

1. 研究開始当初の背景
 2005～2008年度までの科学研究費補助金

による研究において、12、3世紀に確立され
 それ以降、注釈が連綿と付されていくような

いわゆるイスラーム思想における「権威的テキスト」の存在に着目した。前研究プロジェクトはそれら権威的テキストおよびそれに付随する注釈書の特徴と相互間の関係性を明らかにすることを目的としたが、それらの権威的テキストは当然のことながら現代までその重要性和有効性を維持している。さらに、テキスト成立時に比し、現代のイスラーム世界は非常に多様性をもって全世界規模に広がっている。これらの事実を鑑み、地域研究を念頭においた権威的テキストの現代における役割とその発展性を考慮した文献学的研究を進める必要性を感じた。

2. 研究の目的

上述したような課題点を意識し、本研究では権威的テキストおよびそれらに付随する注釈等のテキストそのものの分析、データ収集を引き続き行いつつ、それらが現代においていかなる解釈、理解を経て受容され現代的意義をもつのかを意識した文献学的研究を行う。特に、代表者および分担者の専門領域である中東地域（トルコ、アラブ、イラン）にその地域性を絞った問題意識で取り組んだ。さらに、現代の神学者、哲学者、スーフィー、法学者などの見解も積極的にとりあげ、いわゆる「武装派」に属さない一般的中東ムスリム知識人が、どのように近代以前の伝統的権威的思想を受容、再生案しているのかを問うことも目的とした。

3. 研究の方法

研究代表者、および三名（後半は四名）の研究分担者の専門に従い、それぞれ核となる思想家およびテキストを取り上げ、現代の中東イスラーム世界への影響を分析する。定期的な報告会、それに続きテキスト講読、その後の成果発表として、論文作成、著書作成、研究会や講演会への参加等を計画。

4. 研究成果

(1) 近代以前の古典として 12, 3 世紀に成立した権威的テキストは近代以後も、いわば知の遺産として神学、哲学、法学、教育、政治、日常生活、あらゆる分野で現代にいたるまで広くイスラーム世界の人々に受容され、その影響力を持ち続けている。竹下は、中東における歴史、言語、政治上の三主要地域、つまり、アラブ、イラン、トルコ全体を視野にいたれた権威的テキストの汎用性に注目しつつ研究を進めた。中心となったのは専門領域であるイスラーム神秘主義思想のテキストである。具体的成果としては、編集を担当した『イスラーム哲学とキリスト教中世 I, II, III』（三巻本、岩波書店）の各論文に集約した。それらで、イスラーム哲学、神秘主義の伝統的概念である知性、流出論、存在一性論等のテーマに関し、地域性を超えたイブン・アラビーのテキストの近現代における浸透と影響を考察した。

(2) 現代のイスラーム社会においてもその重要性が失われることなく実社会に即して権威的テキストが利用される最大の分野が法学である。法学に関しては、分担者柳橋がスンナ派四法学における 11 世紀から 13 世紀に執筆された財産法に関する権威的テキストを解説した大著『イスラーム財産法』を本研究の成果として完成させた。

(3) ペルシャ、イランにおけるシーア派イスラーム世界の権威的テキストの分析には、分担者の鎌田および吉田が当たった。イラン・イスラーム世界を代表する知的遺産としては照明哲学の系譜があげられる。鎌田は神秘主義哲学およびスーフィズムとシーア派の接点、関連性に関する論考を発表。他方、吉田は伝統的なウラマーによる知的遺産として構築されたシーア派の伝承に関して、最

初期のテキストとその後公認学派としてイラン地域に支配的となった後で取りまとめられた17世紀の百科全書的伝承集との差を比較検討する研究を行った。

(4) 分担者青柳は専門分野の神学的テキストに基づき、一例を挙げると、婚姻という現代社会においても広く一般ムスリムの関心事項である儀礼に関し、ガザーリーと現代のイスラーム界では最も著名な法学者の一人であり、彼の出すファトワーはアラブ社会のみならず全世界のイスラーム教徒に対して絶大な影響力をもつとされるカラダーウィーの見解の比較検討などを行った。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計32件)

- ① 竹下政孝、イスラームの聖者ラービア・アダウィーヤ、中東協力センターニュース、査読無、2011、43-48
- ② 吉田京子、諸光の大海 Bihar al-anwar—12 イマーム・シーア派における知の一形態の一例として—、早稲田大学イスラーム地域研究論集、査読無、2011、273-284
- ③ 鎌田繁、シーア派神秘思想とスーフイズム：その連続性とクルアーンの役割、早稲田大学地域研究論集、査読無、2011、263-272
- ④ 青柳かおる、イスラームの婚姻論比較研究—ガザーリー、イブン・アラビー、カラダーウィー、東洋学術研究、査読有、2010、105-121
- ⑤ 竹下政孝、クーナウィーにおける階梯と存在の二つの階層、東洋学術研究、査読無、2010、77-104
- ⑥ 鎌田繁、Mulla Sadra's Imama/walayah: An Aspect of his indebtedness to Ibn Arabi, Journal of Islamic Philosophy、査読有、2010、65-76
- ⑦ 柳橋博之、初期アブー・ハニーファ美德伝の編纂期における言い伝えの選別基準について、宗教研究、査読有、2009、385-408

[学会発表] (計11件)

- ① 青柳かおる、スーフイズム (イスラーム神秘主義) における思想と実践、第4回東洋哲学研究所公開講演会、2011年11月7日、東京

- ② 鎌田繁、Mahdism and Maitreya Buddhism、The 7th International Conference on Mahdism Doctrine、2011年7月15日、テヘラン、イラン
- ③ 竹下政孝、Shams-e Tabrizi and the philosophers、International Shams Symposium、2009年12月12日、イスタンブール、コンヤ、トルコ

[図書] (計3件)

- ① 竹下政孝他、岩波書店、イスラーム哲学とキリスト教中世II 実践哲学、2012、1-17、117-153頁
- ② 竹下政孝他、岩波書店、イスラーム哲学とキリスト教中世III 神秘哲学、2012年、3-12、113-139頁
- ③ 柳橋博之、東京大学出版会、イスラーム財産法、2012年、997頁

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

竹下 政孝 (TAKESHITA MASATAKA)
東京大学・大学院人文社会系研究科・教授
研究者番号：30163398

(2) 研究分担者

柳橋 博之 (YANAGIHASHI HIROYUKI)
東京大学・大学院人文社会系研究科・教授
研究者番号：70220192
鎌田 繁 (KAMADA SHIGERU)
東京大学・東洋文化研究所・教授

研究者番号：70152840

青柳 かおる (AOYAGI KAORU)

新潟大学・人文社会・教育科学系・准教授

研究者番号：20422496

吉田 京子 (YOSHIDA KYOKO)

東京大学・大学院人文社会系研究科・助教

研究者番号：00503872

(3)連携研究者

()

研究者番号：